

This Month's PICK UP TOPICS!



SUPPORT 01

学術論文の探し方・入手方法の基本をマスターしましょう! 文献探索セミナーのすゝめ

これから研究を始める新4年生や新しく矢上キャンパスにいらした方を主な対象に、論文の探し方や入手方法、各種データベースの使い方を少人数の実習形式でご案内します。研究生生活の好スタートを切りましょう!

研究室向け 対面またはオンライン選択可

3月6日(水) - 5月31日(金)

平日9:00-17:00の時間帯

(開始時刻は9:00-16:00)

研究内容やご要望に合わせて丁寧に説明しますので、研究室などのグループでお申し込みください。

個人向け オンライン開催のみ

4月26日(金)15:00-16:20

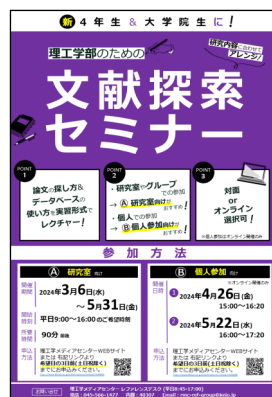
5月22日(水)16:00-17:20

個人で参加を希望する方向けの日程です。

詳細・申込




詳細・申込



NOTICE 卒業・修了後も使える? 02 図書館サービス

慶應義塾を卒業・修了して塾員となる方も、引き続き利用可能な図書館サービスがあります。メディアセンターごとに事前申請が必要な場合や一部サービスが異なるため、ウェブサイトにて詳細や最新情報を確認してください。

塾員(卒業生): 理工学メディアセンターのサービス

入館	○
資料の貸出	×
館内資料の複写	○ セルフコピー 1枚/10円(白黒)
電子ジャーナル	▲ レファレンスデスクでの代行印刷 1枚/30円(白黒) ※一部提供不可のタイトルもあります
他キャンパス・他機関からの文献取寄せ	×
レファレンスサービス	○
ウェブサイト案内ページ	 メディアセンターTOP > 図書館を使う > 塾員(卒業生)の方

NEWS 03 第3回プレゼンバトルを開催しました!

12月7日(木)、第3回プレゼンバトルを開催しました。6名のプレゼンターによる個性あふれるプレゼンと活発な質疑応答で、会場はとても盛り上がりました!

~当日の発表順~

- 1.ケンさん「淫ら、情熱、そして愛-ワトーの華麗なる祭りの真髄」
- 2.永田禄人さん「自律走行ってどうなるの?」
- 3.谷槩さん「結婚している人は見ているのか?」
- 4.上野なつきさん「虫嫌いは普通のことか?」
- 5.富井優花さん「人生に遊び心を!」
- 6.角田芽衣菜さん「あなたの哲学をぶっ壊す!」

いずれも工夫の凝らされた素晴らしいプレゼンの中で優勝者に選ばれたのは角田芽衣菜さん、所長賞は富井優花さんでした!



前号で出題したクイズの答えはわかりましたか？二五二号のデザイン変更は何か？答えは、「編集委員の一言」と「発行」のインデックスが右から左へ変更になった、です。プレゼントの図書館特製の透明ポケット付きバックはゲットできましたか？ゲットできたみなさま、「理工学メディアセンターニュース」を隅々まで読んでくださりありがとうございます！(MN)

先生に聞いてみた！

私の一冊

理工学部の先生方に、研究に役立つ本、若かりし頃の思い出の一冊など毎回さまざまな分野のお薦めの本を紹介していただきます。先生方の見ている世界が垣間見えるかもしれません。

Recommended by



システムデザイン工学科 須藤 亮 先生

組織工学



少し前のことですが、学科の教員で今後の日本の社会に必要なシステムデザイン工学について議論する機会があり、この本が話題に挙がりました。日本の出生率はかなり低く、日本の人口は2008年にピークを迎え減少に転じています。急激な人口の減少が社会に与えるインパクトは大きく、様々な課題が生じてくるでしょう。持続可能な社会にしていくために私たちには何ができるでしょうか？この本では、まちづくりの話題が中心ですが、若い世代の視点から日本の将来を考えるきっかけにもなると思います。学生のみなさんには研究活動を通して真の課題解決能力を養い、これからの変わりゆく社会の中で活躍していただきたいと思います。

人口減少社会のデザイン

Location 本館2階図書

広井良典 著 東京：東洋経済新報社, 2019

Spotlight

利用者の皆さんに知ってもらいたいこと、耳寄りな情報を写真とともに紹介します。



本館2階
新書・文庫コーナー

『慶應義塾図書館史II』



2023年11月24日
創想館1階 新着図書コーナーにて

慶応工学会様から寄附をいただきました！

本館2階に上がってすぐの新書・文庫コーナーには、講談社ブルーボックスや岩波科学ライブラリーなど、理工学部生の好奇心をくすぐる読み物が揃っています。このコーナーは一般財団法人 慶応工学会のご支援を受けて充実させてきました。慶応工学会による寄附の歴史は2010年まで遡ります。寄附金は当初、不足しがちな図書予算の補填に充てられていましたが、2016年に新書・文庫コーナーを新設するにあたり、まとまった冊数の購入費用として役立てられました。その後も新書・文庫コーナーへの新刊書の追加や利用の多い図書の買い替えに活用しています。慶応工学会の成り立ちや寄附をお願いすることになった経緯などを2023年刊行の『慶應義塾図書館史II』(377@K1@70)で紹介していますので詳しくはそちらもご覧ください。

【発行】
慶應義塾大学 理工学メディアセンター
(松下記念図書館)

神奈川県横浜市港北区日吉三-14-1

Webサイト

